

■□グループ討議 18:45~20:25 □■□■□■□■□■□■□■□■□■□■

- 「まち・ひと・しごと創生で大切なこと」を市民感覚で議論するために、「まち」「ひと」「しごと」の3つのカフェをつくり、メンバーを変えて25分×3回議論しました。
- カフェマスターは、グループファシリテータが務めました。



■□全体共有 20:25~20:45 □■□■□■□■□■□■□■□■□■□■

- 各カフェでの議論をカフェマスターが紹介しました。
- 各参加者に「ふりかえりシート」を作成してもらいました。

■□おわりに 20:45~20:50 □■□■□■□■□■□■□■□■□■□■

- 最後に清須市より、お礼の言葉を述べ、閉会の挨拶を行いました。

<まちカフェ>

タイトル（キーワード）	参加者の発言
これから発展するまち	<ul style="list-style-type: none"> • 人口推計を見ると 2015 年～2040 年の間、清須市の生産年齢人口は <u>国よりも多い割合で減少</u>する。これは、今よりも税収が減り、悲観的な将来となる。<u>外から人を呼んで定住人口を増やす必要がある</u>。企業が増えれば良いが。 • 企業の経営的な視点からみると、<u>子育て世代等今後人口が増える見込みがある地域に進出、出店することになる</u>。より良い商品やサービスを提供する企業が増えると、外部から人も集まってくる。<u>自然増加に社会増加も加わり、地域として発展する</u>。 • 安定した財源、制度を維持していくためには、<u>子育て世代が安心して子育てしやすくする地域であることが大事</u>。 • また、これからのまちというのは、<u>人間らしく生きることができるといえる</u>。戦後、中流の家庭を作ることを目指してきたが、もう昭和ではなく、平成も終わろうとしているので、更にも上を目指すべきだと思う。<u>心を満たすことが大事</u>。心の充実。
子育て世代が、子育てしたくなるまち（子育て世代のニーズに徹底的に応えるまち）	
子育て世代へのサポート	<ul style="list-style-type: none"> • 3人目の保育料が無料など、<u>子育て世代への厚いサポートは必須</u>。 • <u>社会保障がしっかりしている</u>。 • <u>資格取得のサポートなどもあるとありがたい</u>。
子育て世代が必要な施設	<ul style="list-style-type: none"> • 清須市は、愛知県で出生率 No.1 にもかかわらず、<u>産婦人科がない</u>。 • <u>家族で一日遊べる場所があると良い</u>。川など水を活かしたテーマパーク、お店があると良い。 • 子ども、高齢者をあずけられる施設。保育園の待機児童の問題は取りあげられるが、老人ホームに入れない待機高齢者の数は何倍も多い。清須は出生率が高いが、この子育て世代の方々が自分の親を介護する時に大きな問題となりそう。家で見られる人は良いが、自分の体が弱った時に預けられない。子どもを預けられないから働きたくても働きに行けないと同様に、高齢者を預けられないから働きに行けない、となる可能性がある。ここに行けば大丈夫というところがあれば、安心して親子で老後を迎えられる。
防犯・防災	<ul style="list-style-type: none"> • <u>子どもが外で遊ぶことのできる環境がほしい</u>。「写真を勝手に撮られた」「後ろからついて来られた」などの話を聞く。小学校からも毎日のように不審者情報がメールで届く。これでは不安で子どもを外に出すことができない。結局、家でゲームばかりになってしまう。 • <u>空き巣も多い</u>。道路が発達していたり、高速道路のインターに近いの

	<p>で自動車逃げやすい。<u>交通の利便性がデメリットにもなっている。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> • 水害の記憶がある。インフラは強化されつつあるも、まだ不安はある。<u>心の安心が大事。</u> • <u>住民が自衛することが大事。</u>張り紙、見かけない人が来たら声をかけあう一声運動。連携することが大事。 • 個人で災害ボランティアコーディネーターになり、<u>住民活動として防災カフェ</u>をしている。清須市全体の活動では自分達の地域を守れないので、自分達の地域でカフェで語りあったり、通学路などまちあるきをししたりしている。<u>コミュニティをつくることが大事。</u>
人間らしく心豊かに生きていくことができるまち	
心の充実	<ul style="list-style-type: none"> • <u>心を満たすことが大事。</u> • 地域への愛着心。次世代にとって魅力的な地元となる。 • <u>アイデンティティ</u>を持たせる（文化も）。 • 未来、将来に繋がる躍動感をモチベーションに。
学びの機会	<ul style="list-style-type: none"> • <u>人や情報が集まることで活性化する。</u> • 例えば、名古屋駅が近い地の利を活かして、枇杷島駅に<u>図書館</u>を直結する。一宮は駅の上に図書館とイベントスペースができた。場所はあると思うので清須市も実現してほしい。 • <u>教育の充実。</u>子育て世代も大事だが、その親の世代である祖父母世代から子どもに伝えるものもあり、全ての人にとって大切。人生ずっと勉強。
高齢者の活躍	<ul style="list-style-type: none"> • <u>高齢者の方がサービス提供者になることも大事。</u>
清須の宝	<ul style="list-style-type: none"> • <u>歴史</u>を大切にしたい。外の方に誇れる遺産を整備したい。<u>朝日遺跡</u>は、2年後に資料館ができることになっているらしい。 • <u>日本一長い人口河川</u>がある。江戸時代に造られた。誇れるところはたくさんある。 • 清須には、清洲城、川治い、鳥山明邸、COCO壱番屋など見所は沢山ある。インスタ映えしやすいスポットは沢山ある。
名物の開発	<ul style="list-style-type: none"> • <u>清須の名物</u>を作る。ぜひ作ってほしい。過去には、商工会主催で清須のB級グルメを競う「清須1（ワン）グランプリ」をやっていた。現在は、まちゼミに移ったが、清須市の方が参加されていない。
街並みの整備	<ul style="list-style-type: none"> • <u>街並み環境整備。</u>戦後から造ってきた無機質な構造物ではなく、ヨーロッパのようにおしゃれにすれば、心も豊かに様々は発想も湧きやすい。安心、快適、連携は当然やって行かなくてはいけないが、もっと上を目指す。 • 小さい街なのでお金がない。<u>街並みがきれい</u>で、<u>市民の心が豊か</u>になれば、観光客も増えるのではないかと。そして、外貨が稼げる。企業もくる。雇用も創出される。<u>アイデンティティ</u>を持たせる。

世界遺産づくり	<ul style="list-style-type: none"> 世界遺産。造った当時は世界遺産になるようなものでなくても、少しお金をかけて、違うアイデンティティを持たせることで、何百年後にはまちの遺産として世界遺産になっていく。文化もしかり。けちらずに初期投資をして、土台を造ることで、民間が集まってきて広がっていく。
今あるものを繋ぎ、ネットワークとして新たな価値を提供するまち	
まちの中心をつくる アプローチ	<ul style="list-style-type: none"> まちの中心をつくる。まちのへそ！2つあっても良い。 清須市内には、名鉄、JR、城北線の駅が合計9つある。<u>どこが拠点となる駅か</u>。例えば、清須市には、どこのまちにもある観光案内所がない。清洲城に近いのは新清洲駅。須ヶ口駅が近いけれどももない。
今あるものを活かし、 ネットワークを強化する アプローチ	<ul style="list-style-type: none"> まちの中心をつくるのではなく、ネットワークを強化する。 駅間乗り捨てが可能なレンタサイクルを導入したら便利になるのではないか。 清洲城はライトアップされているのに、駐車場は17時まで終わる。自転車なら見ることができる。 繋ぐという発想をすれば、中心街や大繁華街を造る必要はない。<u>個性的なお店が大切</u>。ただ1つの飲み屋さんが満員だと、他のお店がないというのは気になる。他の選択肢があると良い。 <u>今あるものバラバラなものを繋いで活かす</u>。流れを生み出す。各地域のお祭り、春日の大根など。
既存の事業者にメリットを 感じてもらう	<ul style="list-style-type: none"> 観光がお金に繋がっていない。折角見るところがあるので、<u>今あるお店が育つように</u>。この地域は儲かると分かれば他もくる。うどん屋巡りはすごく人気。どこにあるかというマップ。 清須1（ワン）グランプリの時はマップもでき良かった。現在は、<u>まちゼミに移行した</u>。小顔になる体験、スカーフのまき方体験、和菓子の作り方体験など活動しているが、<u>事業者側へのメリットが十分感じられない状況</u>にある。商店街で行くと人が集まり効果がでるが、個々のお店で行くと流れを生まないなのでメリットは小さい。 清須ウォークは市役所が音頭をとっている。そこに商工会が協力すれば何かができる。歩くだけではなく、お店にお金が落ちるようになると良い。
地域の名物開発	<ul style="list-style-type: none"> 清須の名物を清須のお店に開発してもらう。カレー、うどん、プリン、調味料などある程度しぼりをつくる。はじめに名前を決めると始めやすい。 それらをつなぎ合わせて、スタンプラリーにする。
情報発信	<ul style="list-style-type: none"> 名鉄ハイキングに行くと、何も無い道を歩くのだが、一本道を入ると知らない酒蔵などがあり試飲ができたりする。そういうものをインスタで紹介したらいい。ここを歩くとこんな店があるよ、と。

	<ul style="list-style-type: none"> • <u>清洲城に行ったらその次の場所を紹介することが、すぐにできる方策。周辺マップやオススメコースをつくと、少しずつ面になる。途中にお店があるようにする。</u> • <u>これは、どこか一つのお店ができるのではなく、商工会が情報をもっている。市役所は必要性がわかるので、協力されるのではないか。行政と商工会との連携も大切。情報発信力は大きくなる。</u> • <u>まちがインスタスポットを沢山つくることで、多くの人に来てくれるようになったまちもある。</u>
市の旗振りは大事	<ul style="list-style-type: none"> • 清須市には、大根、お城などあるが、今後新しいものもつくる。市が土台をつくと、民間参入をしやすい。 • <u>市が大きく旗を振ると、小さいお店はついていく。旗振りがないと何をしたいかわからない。協力してくれといわれれば、協力しやすい。</u> • 清須1（ワン）グランプリは良かった。メリットを見出すと参加してもらいやすい。
訪問／出張サービス	<ul style="list-style-type: none"> • <u>これからのまちには、既存サービスが訪問して提供する訪問サービスが増えるだろう。歯医者も訪問サービスをしているが、まだ知られていない。</u> • 年輩の方々は、あしがるバスもあるが公共交通機関での移動が不便な中、また家族に移動を頼みにくい中、役場の手続きをどうしているのか。市民センターが全て無くなったので、毎日ではなくては良いので、<u>出張行政サービスなどがあると良い。機械だと分からないこともあるので、やはり人が介在した方が安心で分かりやすい。</u>
社会インフラを整備し活用できるまち	
インフラの整備	<ul style="list-style-type: none"> • <u>安定した社会基盤。道路、河川、上下水道、学校などインフラがしっかりしていないと生活もできないし、人もこない。</u> • <u>新清洲駅周辺の名鉄の高架化は、早く進めてほしい。清洲小が近いが通学の時、踏切はずっと降りているので、自動車の渋滞や自転車で駅に向かう人など混み合い危ない。</u>
インフラの活用	<ul style="list-style-type: none"> • <u>清須は高速道が整備されているので、物流等インフラの活用が課題である。しかしながら、中途半端にしか土地が残っていない。小牧市は先手をいっている。ただ、物流の倉庫が沢山あると、住民はそこを超えて行きたいとき、大きく迂回しなくてはいけなくなる。</u>
病院	<ul style="list-style-type: none"> • 市民病院。 • 産婦人科がない。
整合のとれた計画	<ul style="list-style-type: none"> • <u>清須市の総合計画と都市計画等の計画とがリンクするようにすべき。</u>

【まちの創生に、市民目線で何が大切か？】

「これから発展するまち」

- ①子育て世代が、子育てしたくなるまち（子育て世代のニーズに徹底的に応えるまち）
- ②人間らしく心豊かに生きることができるまち
- ③今あるものを繋ぎ、ネットワークとして新たな価値を提供するまち
- ④社会インフラを整備し活用できるまち

<ひとカフェ>

タイトル（キーワード）	参加者の発言
市民の満足度（心の豊さ）のための環境づくり	
文化的な団体を増やすこと	<ul style="list-style-type: none"> • 市民教育の場を充実させる。 • NPO法人化されたスポーツ、文化団体の充実によって市民コミュニティを発展させる。 • それらで外部都市からの取り込みを狙う。
外から人・企業を呼びこむこと	<ul style="list-style-type: none"> • 情報分野で先駆けとなるといい（SNSで傾向を読む等）。
文化的な土壌を上げる魅力ある街並みづくり	<ul style="list-style-type: none"> • ヨーロッパなどの景観にならい、ガードレール一つとってみても無機質な物からより魅力的なものへと変えていく。 • お金はなくても裕福な豊かな暮らしがヨーロッパにはある。
行政と市民の橋渡しができる人づくりと場づくり	<ul style="list-style-type: none"> • 行政と市民の信頼関係が大切。 • 市民の声を拾う市民参画会議のような場は必要で有効。
多様性が認め合える場づくりと教育	
多様な視点を育むための教育とその後の受け皿整備	<ul style="list-style-type: none"> • 1週間程度の海外遊学（現在も中学で実施中）それによって将来的な価値観が広がったという話しをよく聞いた。 • 多様な人材が育った後の環境整備（シリコンバレーのような）。
まちが子どもを育てるといふ視点を持つこと	<ul style="list-style-type: none"> • 大人が多様性を認め合う姿を子どもに見せること。 • 地域の子、よその子も自分の子という大人が作りだす環境が大事。
尊重し合える関係ができる場づくり	<ul style="list-style-type: none"> • 春日の地域住民はボランティア精神旺盛で尊敬できる人ばかり。 • カフェに集う仲間も環境意識も高く日ごろから地域のことを話し合っている。 • 友達感覚で老若男女気楽に話せる人（場）の発掘が大切。 • 例えば「防災訓練やるから手伝って」と気楽に言える関係づくり。 • 話し合うことが大切。

愛着のもてる清須にすること	
幼少期の自然や人とのかわりに注力すること	<ul style="list-style-type: none"> • 生まれも育ちも清須で現在も清須に暮らす理由の一つに幼少期はずっと魚釣りをしていたという原風景がある。 • 田舎暮らしへのあこがれから春日を選んで入居した。 • 近隣の子を集めて虫取りやししゃぼん玉づくりなどで遊ばせてくれる大人が居た影響は大きい。 • 友人が地元（岐阜）で大学を創設しようとしているが、そのモチベーションとなるのは、地元への愛着に他ならない。
子どもが清須を好きになること	<ul style="list-style-type: none"> • 子どもに地元の魅力（歴史・文化・水・防災等）を伝えること。 • 新川が日本一長い人工河川であるということも子どもの時に教わり誇りの一つになっている。 • 清須生まれの夫にとって、清洲城は誇り。 • にしび祭り、やると祭等が形になっている。 • 祭りを上手に盛り上げ仕切れる人が居てほしい。 • お祭りの内容（踊り、手作りおにぎり、お菓子等）が充実している。それらが子どものいい思い出になり、戻って来たい町になる。
清須ならではの、居場所とマンパワーによるサポート	<ul style="list-style-type: none"> • 子育て支援センターが清須は充実していて良い。 • 雨でも一人でも支援センターに行くことができ、そこのスタッフが話し相手になってくれることで子育ての孤独感をサポートしてくれる。 • 北名古屋市も市外の人でも遊べる子育てスペースがある（名古屋在住時には北名古屋市をうらやましく思っていたほど）。
施策によるバックアップ	<ul style="list-style-type: none"> • 二人目から保育料無料の施策。 • 共働きしやすい施策。 • 多様な働き方のできる企業の誘致。
語り、伝承し、PRする人	
語り伝えていくことが大切	<ul style="list-style-type: none"> • 清須のいい所、昔話などを学校などで話してくれる人がいるといい。 • 小学校・中学校で語り継ぐ体制づくり。
平和をいつも感じられることが大切	<ul style="list-style-type: none"> • 清須のようなどころだからこそ非核宣言都市にする等。 • 次の世代にリアリティをもって伝承していく術は「語る」以外にも手段がたくさんあるのではないか。 • 「語る」が一番安上がり。
活動を上手に発信すること	<ul style="list-style-type: none"> • 自分は発信するのが下手だから。 • 清須自慢を東阪名に語れる人づくり（PR大使育成）。 • 美濃路ももっと大げさにPRして外部の人にひっかかるようにした方がいい（行政がというよりスポットをつくるだけでいい）。 • 住みやすい町No.1の長久手市と同じ要素はたくさんあるので、あとは活かし発信するのみ。
継続力のあるリーダー	（役がつくとがんばれる男性に対し、人付き合いが苦手でも一度代表を

	<p>経験すると次もやってもらえるということがあるので)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ イベントや企画によってリーダーシップを発揮できる機会づくり。 ・ 子どもの時から経験できる仕組みづくり。
市のアイデンティティを持つこと	
魅力ある清須を盛り上げる	<ul style="list-style-type: none"> ・ 伝統が息づく清須に特化した集団をサポートするといひ。
市民が経験を積むこと	
市民が学び活動したくなるような教育の場が必要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市が主催の防災ボランティア養成講座などで経験者が増えるといひ。 ・ 市民病院をつくるということも必要かもしれないが、同時に市民がボランティア経験を積むことが大切。
仲間が仲間を呼びつながら	<ul style="list-style-type: none"> ・ おやじの会@春日は防災体験会を実施していた。 ・ 愛知の人はUターンしやすいときく。新川も同級生が多い地域。友人に誘われて消防団に入っているがよく訓練している。 ・ ボランティア(株)所属と言ってもいいほど日ごろから健康づくり、環境、防災等の面で活動している。僕のような人が増えたらいい。
地区の立地と住民の意識	
地区によっては住民の融和に課題意識がある	<ul style="list-style-type: none"> ・ 西枇杷はみな名古屋に行ってしまうので、住民の融和に問題があると感じる。 ・ 住民の意識調査でいつも北部と南部とでは満足度が逆になってしまうことが課題。
<p>【ひとの創生に、市民目線で何が大切か？】</p> <p>①大人が多様性を尊重し合う関係を築きながら、子どもたちが小さい時から清須に愛着を持てるように“まちが子どもを育てる”ことを大切にする！</p> <p>②仲間が仲間を呼び日ごろの活動の継続と、学び参加したくなる場をつくることで継続力のあるリーダーをうみだしながら、“市民が経験を重ねる”ことを大切にする！</p> <p>③内外に語り発信することで“清須市のアイデンティティを育む”ことを大切にする！</p>	

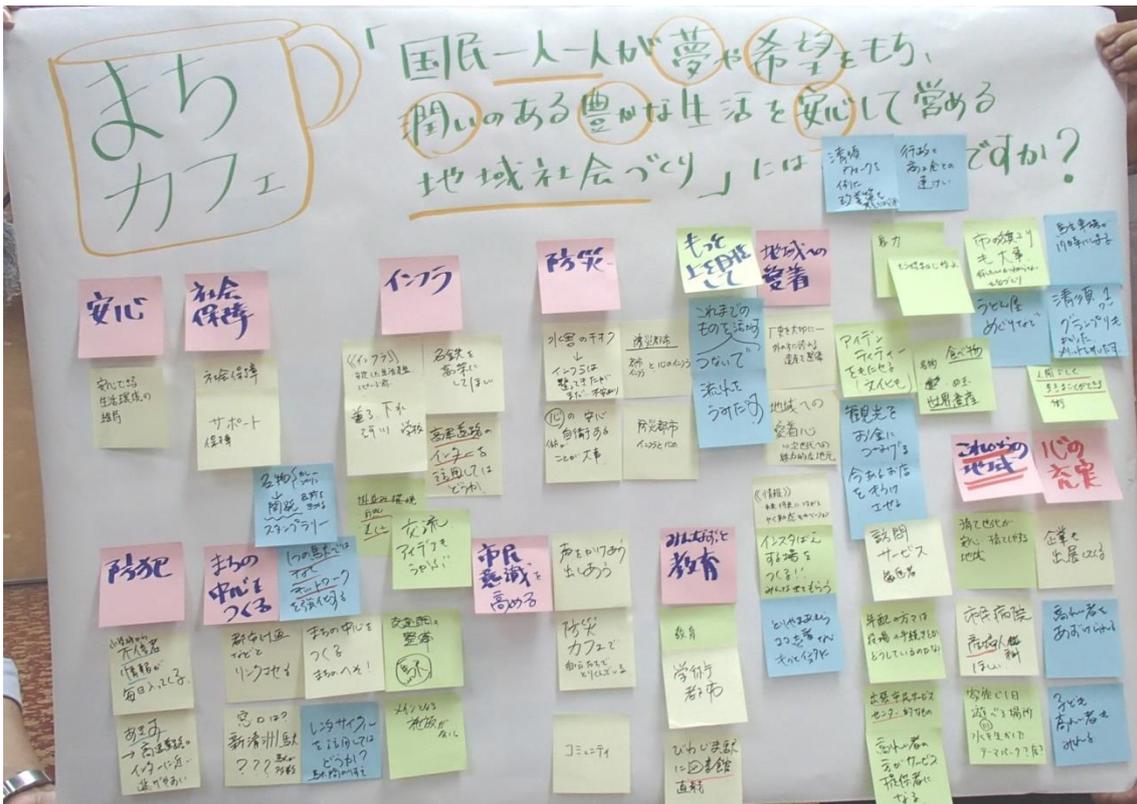
<しごとカフェ>

タイトル(キーワード)	参加者の発言
有力な観光資源をPRして観光を仕事に	
有力な観光資源をもっとPRして！	<ul style="list-style-type: none"> ・ 清洲城だけではなく、朝日遺跡、美濃路等、観光資源となる名所がたくさんある。なのに、テレビの情報番組で清須が取り上げられることはないのが残念。観光客が来れば、私のような小さなお店も活性化する。観光資源があるのに使わないのはもったいない。もっと対外的に、継続的にアピールしてほしい。

	<ul style="list-style-type: none"> 観光施設の充実。せっかく清洲城を再建したのにアピールが足りない。城だけ立派だが、土産屋さんや食べ物屋さんが少ない。 歴史は他の地域に負けないので、もっとPRしてほしい。 若者が情報発信すると広がりやすいので、清洲城と桜等、インスタ映えする写真を若者に向けて発信をするとよい。常にインスタを更新する。
観光しやすい道路等の整備が必要	<ul style="list-style-type: none"> 清洲城のライトアップに行ったが、駐車場がなく、路駐せざるを得なかった。駐車場を充実させてほしい。 清須の町は自転車に優しくない。町はどこまで行ってもフラットなので自転車移動に向く。美濃路が自転車で通りやすい道になれば、観光にも通勤にも使える。自転車を使った仕事づくり、そのための自転車道の整備を考えてほしい。
観光をボランティアではなく「仕事」に	<ul style="list-style-type: none"> 観光に力をいれてほしい。清洲城にあるふるさとの館に商品を納入している。女の子たちが武将隊をやった時はすごく盛り上がり商品もすごく出た。が、今は、明らかに城に人が来ていない。盛り上がった時は国からの補助金で武将隊を雇っていたそうだが、その後はボランティアでみんな自分の時間を削っている。<u>ボランティアに頼るだけでは観光に力を入れているとは言い難い。収入が得られる仕事である必要がある。</u>
新たな観光ニーズの発掘を	<ul style="list-style-type: none"> 空っぽのあしがるバスも観光客に使ってもらえるとよい。 外国人観光客も増えているので、外国人向けの観光対策も必要では。 貝塚資料館～城～図書館のコースを観光コースとして活用してはどうか。
地場産業活性化のための環境整備	
飲屋街の活性化	<ul style="list-style-type: none"> 自分のはのんべえなので、居酒屋が繁盛してほしい。一軒だけではダメなので、駅前の路地裏に飲屋街ができるよう地元の居酒屋を応援してほしい。
商業地域を拡充する開発を	<ul style="list-style-type: none"> 商業地域が限られているので、バイパス沿いの農地等を開発して商業地域を拡大しては。サービス業・情報系の仕事が少ないので、そういうところが集まるとよい。
安定的に働ける企業を誘致できる環境整備を	<ul style="list-style-type: none"> 比較的安定した企業で働けることが大事。そのためには優良企業を誘致するとよい。 優良企業を誘致するには、子育て世代が集まりやすい地域を増やす必要があり、そのためには道路整備等環境を整える必要がある。
ベッドタウンらしい産業に特化	<ul style="list-style-type: none"> ベッドタウンを目指す。製造業は市外でよしとして、サービス・情報系産業に特化する等、産業の住み分けをしてはどうか。
全国的に通用する産業施設を	<ul style="list-style-type: none"> 「このことについては清須に行けばなんとかなる」という、全国的に通用する産業施設（キリンビール工場のような）があるといい。観光

	に来る人も仕事に来る人も集まる。せっかく名古屋から5分で、東京から1時間で来れる距離なのに、生かされておらず、市内のどこの駅もさびれている。
若者の起業等の新しい働き方を応援する	
空き倉庫活用等でネット起業支援	<ul style="list-style-type: none"> • うちの近所ではネット通販を始める人が増えている。30代ぐらいの若い人が多い。空き倉庫を活用して、彼らが使いやすくするなどの支援をするとよい。
副業支援	<ul style="list-style-type: none"> • 副業を認める会社が増えてきた。小遣い稼ぎや、本業に活かせる副業ができるといいので、副業支援があるとよい。
空き家を活用するマッチングで移住者を増やす	<ul style="list-style-type: none"> • 空き家を使って欲しい人と使いたい人をマッチングする支援をすると、新しい人が入って来てくれるかもしれない。
主婦が働きやすい環境づくり	
主婦に優しい企業を優遇する政策を	<ul style="list-style-type: none"> • 主婦は子供に熱がでて会社を休みにくく、会社をやめるしかないという声を聞く。主婦に優しい企業が増えると、働いてみようと思う主婦が増える。主婦を雇用すると税金が免除されたり、休暇を取らせるとポイントがつく等、主婦の雇用に積極的な企業を支援する政策をしてはどうか。 • 主婦が長く働きやすい職場を増やすため、主婦を受け入れる会社を表彰する等するとよい。
ホームワーク支援	<ul style="list-style-type: none"> • ホームワーク（在宅就労）ができるよう、そうした仕事を斡旋する等の支援があるとよい。清須の人口増加には、主婦等が子育てしながら家で仕事できるよう支援をしていると、アピールするといいいのでは。
特技と仕事のマッチング支援	<ul style="list-style-type: none"> • 主婦＝パートじゃなくて、絵が上手い等の特技を仕事に生かせるようなマッチングの支援があるとよい。主婦の働く機会が増える。
高齢者施設の充実で主婦を働きやすく	<ul style="list-style-type: none"> • 老人ホーム等に入れずに待機している高齢者が待機児童よりずっと多いと聞く。高齢者施設を経営する企業を誘致すると、主婦にとって働く場が増えるし、要介護の親を持つ主婦は仕事をする時間が持てる。
元気な高齢者が活躍できる場を	
元気な高齢者が「歩く」機会を仕事につなげる	<ul style="list-style-type: none"> • 名鉄ハイキングに行くと、私のように地元を知らない人もルートに沿って歩くことで、路地裏の酒蔵等の知らないスポットに出会える。そのハイキングは、元気な高齢者であふれている。彼らはきっと町のことをよくご存知なので、そんな元気なシニアたちに、彼らだからこそ知っている名所の情報提供やコースの提案をしてもらおう場を設けたら、シニアの活躍の場になり、有名じゃない町中の店やスポットも活性化するのは。 • 講習会をして資格を得た人に、町で気づいた道路等の壊れた箇所を報告すると少し報酬を出すような仕組みをつくってはどうか。散歩が仕

	<p>事になる。</p> <ul style="list-style-type: none"> • とにかく、シニアの方々が増えていく中で、彼らが活躍できる機会を増やすといい。
心豊かに人間らしく生きられる町の「魅力」を強める	
心豊かに人間らしく生きられる魅力的な町を	<ul style="list-style-type: none"> • 日本はこれまで安全、安心を重視してきたが、それは昭和の話で、すでに終わっている。これからは、もっと人間が人間らしく生きる町を目指すべきで、それには町の「魅力」を強めていく必要がある。 • 今の清須は、特別悪くもなく良くもない一般的な埋没した町だと思う。3年前のワークショップで「魅力」を提案し、計画に入れてもらった。みんなに「魅力」を認識してもらい、これからの5年で「魅力」の土台をつくっていけるといい。 • 日本はまだ経済優先で町が都会的だったりするが、ヨーロッパの町は暮らしやすいように自然が残され、町が整備されてデザインがある。教育も重視され、心豊かで、人間が人間らしく生きている。 • 町がそのように魅力的になれば、外から人も企業も来て、仕事も増えるという循環ができる。根本的には、人の面でもハード面でも魅力的な町をつくるのが大事。
ボランティアという「仕事」を増やして人と町の活性化	
	<ul style="list-style-type: none"> • 清須には市外で働く人が多い。そういう人たちには、休みの日には市内でボランティアという仕事をもらい、生きがいとするように支援してはどうか。
消費者ニーズを満たすことで雇用につなげる	
消費者目線で足りない事業所が増える策を	<ul style="list-style-type: none"> • 消費者の目から見て飲食店が少ないので、もっと増えればいい。ラーメン激戦区のような。 • 病院が少ないので、もっと増えればいい。雇用にもつながる。
<p>【しごとの創生に、市民目線で何が大切か？】</p> <p>①有力な観光資源をPRして観光を仕事に ②地場産業活性化のための環境整備 ③若者の起業等の新しい働き方を応援する ④主婦が働きやすい環境づくり ⑤元気な高齢者が活躍できる場を ⑥心豊かに人間らしく生きられる町の「魅力」を強める ⑦ボランティアという「仕事」を増やして人と町の活性化 ⑧消費者ニーズを満たすことで雇用につなげる</p>	



【まちカフェ】の模造紙



【ひとカフェ】の模造紙

1. 本日の議論を通じて改めて感じたこと、言い残したこと等がございましたらお書きください。

- みんなで考えることにすごく意味があると思いました。色々な意見があって面白かったです。
- 地域の市民のニーズや意見をまちづくりに織り交ぜる機会はこれまで以上に量も質も増やしていくべきだと思います。ただ、市民会議をする場合は、市民の年齢比率に合わせて、人を集められるのが理想だと思います。それが、より清須市民のニーズを反映していると思うので、少し強引にでも、年齢比・男女比を考えて集めるとよいと思います。意見が偏ってしまうので。
- 清須市に住んで良かったと、10年後、20年後、思うことができそうです。子どもが成長して市外に出ても、やっぱり清須が良いと思ってくれる町になることを期待しています。自分の考えを伝えることができ、良かったです。
- 知られていないもの、行動、仕組みがたくさんある。広報清須だけでは、知り得ない防災カフェ?など、市のアピール力をアップしてほしい。待機児童ゼロとか城のライトアップインスタ映えとか。
- 県や名古屋市でも女性の活躍する企業表彰などがありますよ。
- これだけたくさんの思いを消化できたら、すばらしい生活間違いないなと実感。清須市を変えるには人の力もいりますが、産業?企業?商売を頑張り、お金づくりから・・・そして潤すことができるなど。大変だあ。
- みなさんが、自分が住んでいる市をもっと良くしたいという思いを持っているとわかり、とても有意義な時間を過ごせたと思います。
- 参加者が皆、清須というまちについて、日頃から熱心に考えられていることがわかって、有意義な時間であった。点から面へ、そして時間軸へ、清須のまちづくりアイデアを持ち寄っていくことがこれから大変であろう。
- 魅せ方
- 清須市の目玉となる工業・商業等の産業の誘致。高齢化社会の到来する為の施設
- 今現在、清須市が持っている歴史、文化、産業をフル活用できるシステムが必要かと思います。それらを活用して新しい魅力を生み出し、周囲に発信する力をもっと作り出してほしい。
- 市の魅力を発信する。メディアに出る事も大切!! 広い視野を持つ子どもを育てられる市になってほしい。
- 頭で考えることより、直感で思うことを、意見し合うことが、大事だなと思いました。色々な考えを出し合うことはとても有意義だと思いました。面白い会議でした。ありがとうございました。
- これからの時代は「魅力」に重点を置く(安心や快適は当然な事)。町並みをデザイン的に美しく、自然を大事に整備する。→人の心を豊かにする(教育の充実) →観光客などが清須に来る →企業が清須にくる →雇用やお金を生む→お金を街に使う→街の魅力を上げる。このサイクルをつくる。

2. 本日の満足度を100点満点で表現すると何点ですか。その理由や改善点もお書きください。

(1) ご自分(個人)に対して

- 100点
- 90点 時間外で一寸アルコールを入れた会があるともっとフランクな話し合いができるのでは・・・
- 90点
- 80点 もっといろいろな情報を自分も取り込んでおく必要があると感じた。
- 60点 老人を感じました。
- 40点 表現力が弱い。
- 30点

(2) グループ・全体に対して

- 100点 自分だけでは思いつかないアイデアが聞けて楽しかった。
- 100点
- 100点
- 95点 フランクな意見を出し合い他人の意見を聴く紳士・淑女の集まりで良かった。
- 90点
- 80点 広い視野を持っている方が多い。
- 50点

(3) ファシリテーター・事務局に対して

- 100点 うまくまとめて、もやっとした話題がクリアになってよかった。
- 100点
- 100点
- 100点
- 100点
- 70点
- 時間どおりに終了してよかったですね。

3. その他、ご意見、ご感想等ご自由にお書きください。

- 丁寧にサポートしていただき、ありがとうございました。
- いろいろな意見を聞いてとても良かったです。ありがとうございました。
- 魅力はすでにたくさんあるんだなと感じた。
- 説明で元号の統一を望む。(含資料)
- ありがとうございました。